



8/26

# 福島建設工業新聞

発行所

福島市西中央2丁目59  
(郵便番号960-8074)

福島建設工業新聞社

電話 (024) 534-7456 (大代表)

©福島建設工業新聞社

公社日本専門新聞協会加盟紙

ホームページ

ホームページアドレス

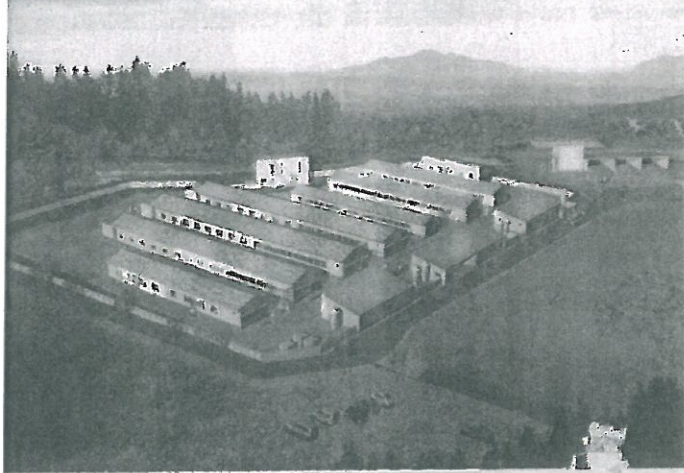
<http://www.fk-news.co.jp>

e-mail [hensyu@fk-news.co.jp](mailto:hensyu@fk-news.co.jp)

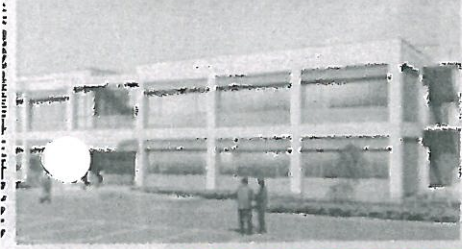
## 県農業関係研究2施設実

### 浜農業再生研究C 種鶏改良増殖施設

### 年内に実



種鶏改良増殖施設のイメージ



県の農業関係試験研究  
手続が開始になる見通  
産研究所養鶏分場の移転  
難地域等の官農再開・農  
はいずれも総合評価・一

## 安全意識の高揚を

### 田中建設が社内安全教育

田中建設(木下弘行社  
長)は18日、広野町の復  
旧・復興工事現場事務所  
で社内安全教育会Ⅱ写真  
Ⅱを開き、安全意識の高  
揚を図った。  
現場代理人、協力業者  
の作業員ら34人が参加。  
安全確認体制などについ  
て意見を交換した後、建  
材試験センターISO審  
査本部の内藤常雄開発マ  
ネージャーが「労働災害  
のない職場づくりに向け  
た緊急対策」について、



造成工事を行っている。  
施設基本設計は全農福  
島一級建築士事務所。実  
施設計は鈴木設計で、10

の鶏舎7棟計約2200  
平方メートル、付帯施設と  
して木造平屋の①孵卵舎  
防疫管理棟③試験調査  
④防疫収納庫、計約5  
0平方メートル、S造の①防  
出荷棟(2階建て)②  
肥舎(平屋)③発酵処  
理施設上屋(同)、計約  
400平方メートルを建設す  
る。  
建物工事は総合評価・

安全衛生法や安全管理の  
仕組み、機械の安全対策  
などについて説明した。

## 経営

TO



024(941)2131

統を開始する見通し  
飼育するためのケージや  
孵卵器、堆肥処理施設  
汚水処理施設等の設備も

## 年内100件の完成目指す

### 住民の早期帰還を後押し

大きく井技術協会の会  
構成する葛尾村賠償  
JVは会員14社のうち  
安藤ボーリング設備、大  
塚さく井工業、北日本ボ  
水代表取締役社長)は21  
日、福島市のウエディン  
グエルテイで臨時総会を  
開き、同村の早期帰還を  
後押しするために深井戸  
掘削工事の年内100  
件、年度内1500件の完  
成を目標とすることを確  
認した。  
東京電力は、葛尾村の  
飲料水の安全確保にかか  
る費用賠償を深井戸掘削  
などで対応しており、工  
事については県と井技

### 古民家再生

## 来月13日に特別

### 安藤邦廣氏、竹原

歴史的建造物等保  
全活用促進協議会と県  
耐震化・リフォーム等  
推進協議会は9月13日  
午後1時半から、福島  
年宮城県生まれ、NP

調達する。実績を踏まえ  
た複数見積もり随意契約  
での発注を想定する。  
【浜地域農業再生研究  
センター】原子力災害で  
大きな被害を受けた避難  
地域等の官農再開・農業  
再生に向けて、現地を除  
染技術研究・開発などを  
行う拠点施設。南相馬市  
原町区の旧浜浜ニューズ  
ポーツセンター広場に建